

【誤（平成25年3月21日公表）】

参考4 図7・8関係

離散時間 complementary log-log モデルによる第2子出生のハザード比

説明変数	出生間隔 exp(b)	説明変数	出生間隔 exp(b)
出生間隔スプライン(年)(基準:0年目)		人口学的要因	
0-3	2.05 ***	第1子出生時の妻の年齢(歳)(基準:25-29歳)	
3-4	0.59 ***	16-19	1.51 ***
4-6	0.81 ***	20-24	1.11 ***
6-10	0.74 ***	30-34	0.72 ***
夫の家事・育児参加		35-39	0.33 ***
夫の育児頻度得点(基準:0-4点)		40-44	0.06 ***
5-9	1.20 ***	居住地地方(基準:関東)	
10-14	1.27 ***	北海道	0.96
15-18	1.23 ***	東北	1.03
夫の家事頻度得点(基準:0-4点)		北陸	1.10 **
5-9	1.00	中部	1.13 ***
10-18	0.95 **	近畿	1.11 ***
妻の育児不安・育児負担感		中国	1.12 ***
子育ての不安や悩み(基準:少しある)		四国	1.19 ***
すこくある	0.87 ***	九州・沖縄	1.24 ***
ほとんどない	1.09 ***	居住地の市都規模(基準:その他の市)	
育児負担感得点(基準:0点)		大都市	0.91 ***
1-2	0.96 *	郡部	1.12 ***
3-4	0.90 ***	地域子育て環境(市町村統計)	
5-8	0.75 ***	Ln(産科施設数 対20-39歳女性人口千人)	1.00
妻の就業と保育所の利用		Ln(小児科施設数 対20-39歳既婚女性人口千人)	1.00
第1子出生時の妻の就業変化(基準:出産前後無業)		Ln(0-3歳の待機児童数 対0-3歳人口千人)	1.00
非正規雇用-出産退職	1.01		
正規雇用-出産退職	1.18 ***	定数	0.019 ***
育休取得で正規雇用継続	1.12 ***	Person-period数	129319
育休取得なしで正規雇用	1.02	サンプル数	17954
育休取得なしで非正規雇用	0.94	イベント数	12602
世帯の属性		カイ2乗値	5245.653
夫の就業状況(基準:中小企業勤務)		自由度	48
大企業・官公庁勤務	1.04 **		
自営・家族従業	1.04		
無職・学生・パート等	0.87 ***		
妻の最終学歴(基準:高校)			
中学・中卒資格の専門学校	0.89 **		
高卒資格の専門学校・短大・高专	1.12 ***		
大学・大学院	1.11 ***		
祖父母との同居(基準:別居)			
同居	1.05 **		
第1子の属性ならびに出生状況			
性別(基準:男)			
女	0.98		
早産による低体重児(基準:該当なし)			
該当あり	0.72 ***		
婚前妊娠の有無(基準:なし)			
あり	1.05 *		
出生月(基準:1月生まれ)			
7月生まれ	1.04 **		

右記に続く

注: 夫婦とも同居している第1子のうち、第2子が出生するか、第2子が生まれる前に調査から脱落若しくは夫婦の同居関係が解消するまでのデータを集計(第1子が多胎のデータを除く)

第1子出生時の妻の就業変化は、第1子の出生1年前と第1子が6か月時点の就業状況により分類

パート、アルバイト、派遣・契約社員、嘱託、その他を「非正規雇用」とした

夫の就業状況は、企業規模により区分し、500人未満を「中小企業勤務」、500人以上または官公庁を「大企業・官公庁勤務」とした

「無職・学生・パート等」には、アルバイト、内職、その他の仕事を含む

妻の最終学歴は、第2回調査までに卒業または在学した学校による分類

出生時の体重が2500g未満かつ妊娠週数が37週未満の子を早産による低体重児とした

出産の9か月前までに父母が同居を開始していなかった場合に婚前妊娠ありとした

居住地の市都規模「大都市」は、東京都都区部と各回調査時の政令指定都市

【正】

参考4 図7・8関係

離散時間 complementary log-log モデルによる第2子出生のハザード比

説明変数	出生間隔 exp(b)	説明変数	出生間隔 exp(b)
出生間隔スプライン(年)(基準:0年目)		人口学的要因	
0-3	2.05 ***	第1子出生時の妻の年齢(歳)(基準:25-29歳)	
3-4	0.59 ***	16-19	1.51 ***
4-6	0.81 ***	20-24	1.11 ***
6-10	0.74 ***	30-34	0.72 ***
夫の家事・育児参加		35-39	0.33 ***
夫の育児頻度得点(基準:0-4点)		40-44	0.06 ***
5-9	1.20 ***	居住地地方(基準:関東)	
10-14	1.27 ***	北海道	0.96
15-18	1.23 ***	東北	1.03
夫の家事頻度得点(基準:0-4点)		北陸	1.10 **
5-9	1.00	中部	1.13 ***
10-18	0.95 **	近畿	1.11 ***
妻の育児不安・育児負担感		中国	1.12 ***
子育ての不安や悩み(基準:少しある)		四国	1.19 ***
すこくある	0.87 ***	九州・沖縄	1.24 ***
ほとんどない	1.09 ***	居住地の市都規模(基準:その他の市)	
育児負担感得点(基準:0点)		大都市	0.91 ***
1-2	0.96 *	郡部	1.12 ***
3-4	0.90 ***	地域子育て環境(市町村統計)	
5-8	0.75 ***	Ln(産科施設数 対20-39歳女性人口千人)	1.00
妻の就業		Ln(小児科施設数 対20-39歳既婚女性人口千人)	1.00
第1子出生時の妻の就業変化(基準:出産前後無業)		Ln(0-3歳の待機児童数 対0-3歳人口千人)	1.00
非正規雇用-出産退職	1.01		
正規雇用-出産退職	1.18 ***	定数	0.019 ***
育休取得で正規雇用継続	1.12 ***	Person-period数	129319
育休取得なしで正規雇用	1.02	サンプル数	17954
育休取得なしで非正規雇用	0.94	イベント数	12602
世帯の属性		カイ2乗値	5245.653
夫の就業状況(基準:中小企業勤務)		自由度	48
大企業・官公庁勤務	1.04 **		
自営・家族従業	1.04		
無職・学生・パート等	0.87 ***		
妻の最終学歴(基準:高校)			
中学・中卒資格の専門学校	0.89 **		
高卒資格の専門学校・短大・高专	1.12 ***		
大学・大学院	1.11 ***		
祖父母との同居(基準:別居)			
同居	1.05 **		
第1子の属性ならびに出生状況			
性別(基準:男)			
女	0.98		
早産による低体重児(基準:該当なし)			
該当あり	0.72 ***		
婚前妊娠の有無(基準:なし)			
あり	1.05 *		
出生月(基準:1月生まれ)			
7月生まれ	1.04 **		

右記に続く

注: 夫婦とも同居している第1子のうち、第2子が出生するか、第2子が生まれる前に調査から脱落若しくは夫婦の同居関係が解消するまでのデータを集計(第1子が多胎のデータを除く)

第1子出生時の妻の就業変化は、第1子の出生1年前と第1子が6か月時点の就業状況により分類

パート、アルバイト、派遣・契約社員、嘱託、その他を「非正規雇用」とした

夫の就業状況は、企業規模により区分し、500人未満を「中小企業勤務」、500人以上または官公庁を「大企業・官公庁勤務」とした

「無職・学生・パート等」には、アルバイト、内職、その他の仕事を含む

妻の最終学歴は、第2回調査までに卒業または在学した学校による分類

出生時の体重が2500g未満かつ妊娠週数が37週未満の子を早産による低体重児とした

出産の9か月前までに父母が同居を開始していなかった場合に婚前妊娠ありとした

居住地の市都規模「大都市」は、東京都都区部と各回調査時の政令指定都市